

## まじふび

Vol. 15 No. 3

2018. 11. 4

## 「信仰とはなにか？」 主任牧師 中島 聡

信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。ヘブライー一・一

「信仰とは何か？」クリスチャンにとつて余りにも当たり前、自前、自明のことですが、さて、いざ「キリスト教の信仰とは何ですか？」と問われた時、いかに答えることが正しいのか、その真義を学びたいと願います。

「イエスはその人たちの信仰を見て、『人よ、あなたの罪は赦された』と言われた。〔ルカ五・二〇〕【中風の人の癒し】、「イエスはこれ聞いて感心し、従っていた群衆の方を振り向いて言われた。『言っておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。』〔ルカ七・九〕【百人隊長の僕を癒す】、「イエスはお答えになった。『婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。』〔マタイ一五・二八〕【カナンの女の信仰】。いずれも病の癒しにおいて、イエス様の弟子ではありませんが、信仰が認められ、賞賛すらされています。

一方、弟子たちに対して、「イエスは、『あなたがたの信仰はどのにあるのか』と言われた。〔ルカ八・二五〕【嵐を静めるイエス】、「イエスはお答えになった。『なんと信仰のない、

よこしまな時代なのか。いつまでわたしは、あなたがたと共にいて、あなたがたに我慢しなければならないのか。あなたの子供をここに連れて来なさい。〔ルカ九・四一〕【悪霊に取りつかれた子を癒す】、「使徒たちが、『わたしたちの信仰を増してください』と言ったとき、主は言われた。「もしあなたがたにからし種類の中最小と言われているもの（一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう。〔ルカ一七・五、六〕【信仰について】。網も舟も職も捨ててイエス様に従い、れっきとした弟子であるにも拘わらず、「信仰がない」、「からし種一粒ほどの信仰もない」と、実に厳しいジャッジが下されています。この対比から信仰とは何か明らかになります。信仰とは、「イエス様なら何とかしてください！ イエス様なら助けてください！」とイエス様による「救いを確信すること」です。さらに言えば、友のため、部下のため、子どものため、イエス様による救いを確信し、執り成しをすることと示されます。

弟子たちは、誰が一番偉いかという競争心、功名心から信仰を欲していたので、イエス様に「そんなものは信仰ではない」と叱責されたのです。

「たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようと、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようと、愛がなければ、無に等しい。…それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。〔第一コリント一三・二、一三〕【愛の教え】」。

ただし、イエス様は弟子たちに格別辛くあたっておられたわけではありません。私たちに信仰の真義を教えるために、弟子たちを練り上げておられたのです。さらに、イエス様は、従ってきた弟子たちのことを本当に愛しておられました。「しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。〔ルカ二二・三二〕、「イエスは、…世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。〔ヨハネ一三・一〕」。

そして、信仰において最も大切なこと、私たちの信仰を成り立たせる全ては、イエス・キリスト御自身であるということです。少し長い引用になりますがお読み下さい。

「しかるに、あわれみに富む神は、わたしたちを愛して下さったその大きな愛をもって、罪過によつて死んでいたわたしたちを、キリストと共に生かし——あなたがたの救われたのは、恵みによるのである——キリスト・イエスにあって、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さったのである。それは、キリスト・イエスにあってわたしたちに賜わった慈愛による神の恵みの絶大な富を、きたるべき世々に示すためであった。あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。〔全ペソ人への手紙二・四〇九〕【口語訳】」

だから、私たちは、「望んでいる事柄を確信し」て、一人でも多くの救いのために祈り、献げ、福音伝道に仕えていくことができるのです。それが信仰なのです。